

市民の願いを新年度予算に

- ・災害に強いまちづくりのため抜本的な防災・減災対策を
- ・中学校卒業までの医療費無料化の実現を
- ・介護保険料・利用料の軽減、介護人材確保対策を
- ・コミバス・コミタクの改善・拡充を
- ・公共施設等管理計画の実施はあくまで住民合意で



日本共産党市議員団が申し入れ

日本共産党甲賀市議員団は11月6日、甲賀市の新年度予算案に市民の切実な願いを盛り込むよう「新年度予算に関する要望書」を添えて、岩永市長に申し入れました（写真）。

要望書は、市民から寄せられている緊急度が高い要望を各所管別に58項目にまとめました。山岡議員は、国の政治のもとで社会保障が切り捨てられ、市民にとって負担が増えている時だけに、市民の生命と健康を守り、福祉と教育を伸ばす、また災害に強いまちづくりを進めることを基調に、いまま何が大事なのか、市民のニーズをしっかりと受け止めて、新年度予算編成にのぞむ必要があること、また県が800億円の財源不足が生じるとして、市町の補助金や交付金などが廃止・縮小されようとしているとき、国や県にしっかりとモノが言える市政運営を貫くよう要望。小西議員からは、信楽窯業技術試験場の移転先の土地について、県の施設であり県が取得する立場であることや、経過を明らかにする必要があることを、岡田議員からは、高齢者施策や子育て支援の充実について要望しました。

地域経済の活性化、福祉の充実、平和と安全を求める県内の労働組合や諸団体の代表が、11月6日甲賀市職員と懇談を行いました。事前に団体から提出されていた「住民の命と暮らし、地方自治の向上を求める要請書」にもとづいて、原子力防災や消費税増税、国民健康保険料、マイナンバー、教職員の勤務状況、平和施策など多岐にわたる要請・意見交換がされました。

労働組合・諸団体からは16名が参加。市からは各担当課長など21名が出席。日本共産党甲賀市議員団の3名も参加しました。



2018自治体キャラバン

あいの土山マラソン

11月4日、第32回あいの土山マラソンが開催されました。朝からあいにくの雨となりましたが、選手みなさんは元気にスタート。今年も全国から3258人が参加されました。



臨時議会開催

11月8日（木）、臨時議会が開催されました。執行部から報告案件3件、その他案件1件、補正予算案件1件、人事案件1件が上程され、質疑、討論、採決が行われました。

その後、議長・副議長の選挙などが行われました。結果については次号のニュースでお知らせいたします。

12月議会

11月28日（水）～12月21日（金）
ぜひ傍聴にお越しください。

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2018年 11月 11日 第240号



山岡 光広
甲南町森尻 16
TEL 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨 456
TEL 83-0765
Fax 83-0765



岡田 重美
土山南町178-15
TEL 66-0696
Fax 66-0696